

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

N o . 285 2025.11.5

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

文豪『島村抱月』

A5判 86P 定価1,260円(税込)

隅田正三著 波佐文化協会刊

島村抱月の業績の再評価と多くの人に抱月の果たした業績を正しく理解していただくために、写真資料を豊富に採用し、抱月の生誕地の解明と生涯を平易に解説した内容で、抱月ガイドブックの役目も果たす必見の図書である。

『民具を用いた労働慣行』

A4判・226P 定価3,000円(税込)

発行者：西中国山地民具を守る会

実践民俗学を提唱して40年間の有形民俗文化財保護活動をとおして文化財全般の保護・啓蒙活動の記録集である。

(内容) I.石見波佐地方の紙漉き習俗 II.石見の紙布つくり III.紙漉き用具・習俗から見た東西の変遷 IV.浜田市の民俗調査から V.石見山間部の暮らしと年中行事 VI.波佐の年中行事 VII.写真「楮蒸し作業・紙漉き工程・紙布つくり」 VIII.写真「民具を用いた労働慣行」(屋根葺き・荒起こし・代掻き・床ならし・代満て・稻扱ぎ・唐臼挽き・早稲搗き・楮蒸し・楮の皮剥ぎ・楮こすり・紙叩き・紙漉き・板乾し・麻の伐採・麻蒸し・大花田植・代掻きの図) IX.指定民具一覧 X.西中国山地民具を守る会の活動記録など。貴重写真満載。

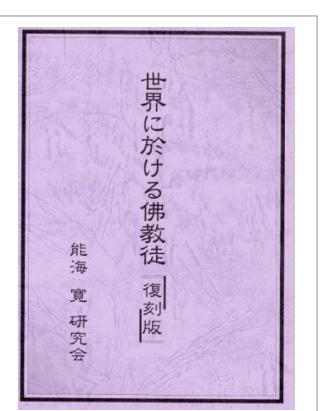


『世界に於ける佛教徒』(復刻版)

A5判108P 定価1,200円(税込)

能海寛著 (M26年刊行) 能海寛研究会刊

明治26年に自費出版された論文であるにも関わらず、現代に熱いメッセージを伝えている。能海寛研究会では、復刻版の刊行を行った。(内容) 宗教の革新、新佛教徒、宗教学上の佛教、哲学上の佛教、歴史上の佛教、道徳上の佛教、比較宗教学、サンスクリット、佛教国 の探検、西藏国探検の必要、佛教徒の連合、佛教回復、総会議所、巡礼、海外宣教、佛教学校、佛典翻訳、本山政論、議会論、教会組織、教職教育、実業論、財政論。



【注文先】 波佐文化協会 E-mail:bunka@hazaway.com